

## うさぎとかめの通信

上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 109周年  
令和7年5月23日 第204号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本！

### ☆幼児教育の蟻の目、鷹の目☆

幼児教育は、一人一人のペースに合わせた援助や環境構成が大事です。そして、一人一人の子供に学びの芽生えを促すには、「〇〇をしなさい」という指導では、育ちません。一人一人の子供が「人・もの・こと」にかかわる中で、自ら学びます。

例えば、花壇の土を掘って遊んでいた5歳児の子供たちが、見つけた小さな幼虫。「カブトムシの幼虫を見つけた！」と大喜びです。でも、去年カブトムシを飼っていた時とその幼虫はちょっと違う動きをしています。「動いている！はやーい」「なんかおなかを上にして動いているよ！」「カブトムシ？でいいのかな？」子供たちの中に、『ちょっと変だな？違うのかな？』と学びが芽生えています。子供たちは、図鑑を出して見っていますが、解明できません。そこを、子供たちに寄り添い見取った担任は、そのままにせず、ipadでの調べ方を援助しました。

「うごいている！」「あー、これこれ！」「これなあに？」先生は、子供たちのipadから「カナブンかハナムグリの幼虫がこんな風に動くって書いてあるよ」とそこで教えました。子供たちの関心の高まりを見取り、分からないままにせず自分で調べてみようとする子供になってほしいという教師の思いからの援助でした。

子供たちの思いや考えを見取る『蟻の目』と、どのように育ててほしいのかという地図をもって子供たちを援助する『鷹の目』がそこにあります。

教師には、子供に寄り添う『蟻の目』と子供の育ちを俯瞰的に見る『鷹の目』の両方が必要なのです。



### ☆高田幼稚園109歳！ お誕生日おめでとう遠足☆



5月17日は、高田幼稚園の創立記念日です。子供たちみんなで、園のお誕生日のお祝いケーキを囲んで、お誕生日の歌を歌ってお祝いしてから、台車にのったケーキをみんなで引きながら高田城址公園までの遠足に出かけました。年長の子と年少・年中の子

が手をつなぎ、仲良く歩き、公園では仲良く遊んだ遠足になりました。

## 5月の子供たち



5歳児まつ組は、育てたい野菜を自分たちで買って来て、植えました。毎日の水やりも頑張っています。



高田幼稚園の子供たちみんなでサツマイモ苗を植えました。優しくそっと苗を寝かせて植えました。



ステージや楽器、衣装も作って、素敵なうめ組のコンサートです。明るい声で歌い上げていました。みんなとても上手です。



高田幼稚園のカメ(亀吉)の冬眠が終わり、3歳児のもも組さんにご対面。「よしよし、なでなで、よろしくね!」



キャンプごっこ。「できたよ、料理!もぐもぐ」、「おいしい?」



どろんこ遊び。「泥水、気持ちいいから、寝てみたい!」寝湯?バカンス?